

## 会議議事録

委員会	2020年度 学校関係者評価委員会
学校名	東洋きもの専門学校
会議名	令和2年度 第1回 学校関係者評価委員会
開催日時	令和2年 7月9日（木） 18:00～19:30
場所	東洋きもの専門学校 イベントホール
出席者	<p>◇委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小寺 克一 （東洋きもの専門学校 校長）</li> </ul> <p>◇委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東 正之 （大阪市立鶴見商業高等学校 校長）</li> <li>・吉村 隆介 （株式会社吉村商店 代表取締役社長）</li> <li>・藤岡 将 （アトリエシルク千林店 ジェネラルマネージャー）</li> <li>・近藤 規代 （東洋学園高等専修学校 教頭）</li> <li>・野崎 智子 （東洋きもの専門学校卒業生 作家&amp;プロデューサー）</li> </ul> <p>事務担当</p> <p>説明者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊藤 （東洋きもの専門学校 副校長）</li> </ul> <p>司会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中永 （東洋きもの専門学校 教務部長）</li> </ul> <p>書記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田中 （東洋きもの専門学校 教員）</li> </ul> <p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本 （東洋きもの専門学校 教員）</li> <li>・中川 （東洋きもの専門学校 教員）</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 11名出席</p>

議案	<p>協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校概要について <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の本校の取り組みについて</li> </ul> </li> <li>②令和元年度学校評価委員会結果報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果について</li> <li>「現状と今後について」</li> </ul> </li> <li>③意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動・教育成果・学生支援・教育環境</li> <li>・募集活動と受け入れ</li> </ul> </li> <li>④意見交換</li> </ul>
----	---

## 内容

- ・学校長挨拶
- ・委員・職員（紹介）

## 協議

### ①学校概要について

#### ◇今年度の本校の取り組みについて

小寺校長より

- ・教育環境の充実を図るため4月より校舎の移転をし、施設・設備の見直しを行った。
- ・新型コロナウイルスの影響で教室での授業が困難になったため、オンラインでの授業を行った。又、ラインでの入学説明を受けることができるよう環境を整えた。
- ・本校の大切な教育活動であるコレクションは本年度も開催予定である。  
状況により、無観客であっても、ライブ配信で実施していきたい。
- ・学生達の就職を支援するため、担当教員を1名増員し、よりきめ細やかなサポートを行なっていく。

### ②令和元年度学校評価結果報告

#### ◇アンケート結果について

「現状と今後について」…レジュメに沿って伊藤副校長より説明

## ※意見交換

〔吉村〕 コロナの影響できもの業界は大きな打撃をうけたところも多いと思うが、就職においては今のところどのような状況か？

〔中永〕 昨年度まで数年間、卒業学年を受け持っていたが、きもの業界に於いては本格的な活動を始めるの夏前ごろかである。インターネットでの求人によってきており、紙ベースでくる求人が昨年度より大幅に減ってきた。

今のところ内定者は1名だが、今の時期においては例年通りである。

〔田中〕 今年度の状況は、5月末までは自粛の影響で合同説明会も行われず、企業にコンタクトをとっても繋がらない状況であった。6月に入りやっと連絡をとれるようになったが、求人を検討している企業も多くあり、なかなか難しい状況である。

又、実情に対応した、オンラインでの会社説明会や面接が行う企業も多くなってきた。

しかし、学校でのネット環境が不十分なところもあり、現在環境を整えていっている。

〔伊藤〕 厳しい状況の中でも、古くからお付き合いいただいている企業さんに問い合わせをし、ありがたいことに、面接をしていただいたり、求人をいただいたりしている。

### ③今年度の重点目標について

#### ◇教育活動・教育成果・学生支援・教育環境

- ・本年度は春季の検定がコロナのために中止や秋に延期となった。ショーと同時期になるが専門学校においては資格修得が必須であるため、高い合格率を目指し教務部中心に強化を図っていききたい。ショーの多忙な時期と重なるため、検定対策講座の時間調整が課題である。
- ・就職希望者は今年16名。就職率100%を目指し担当教員も増やしサポートを強化していきたい。
- ・毎年春に行っている、宿泊研修は、延期とし状況をみながら進めていく。又、学外研修においては各クラス分散型で今月より実施する。毎年依頼を受けて行っている高校などのゆかた着付け講習会は、先日、実施の依頼がきたので、今月より実施する。学外研修においては、校内の授業では得られない学びがあるので、今後も状況をみながら、出来るだけ多くのものを修得する場を設けていきたいと思っている。

#### ◇募集活動と受け入れ

- ・高校訪問や進学説明会が中止になっている中、ホームページやSNSの活用など、広報と協力しながら進めていく。
- ・地方に行くと、きものの需要が多いところもあり、多方面に目を向けてPRの強化をしていく。

## 内容

### ④意見交換

＜海外との交流等について＞

〔大東〕 外国人の受け入れについては今後どのように考えておられるか

〔A〕 今はこのような状況というもあるが、入学に至るには、はなかなか難しい部分がある。  
英語で対応できる教員が居ないことや、教科書にも漢字が多い。また、日本の文化に基づいた用語も多い為、語学的にむずかしいところがある。

＜学生とのコラボ授業について＞

〔吉村〕 企業側からの意見として。 意匠白生地の図案作成においてコラボさせていただいている。  
本年度もテーマを決め、制作をおこなっている。数年前より繋がりを持たせて頂いているが、  
年々デザインの精度が上がってきており、商売に繋がれる生地に仕上がってきている。

〔野崎〕 作家&プロデューサーという立場からすると、企業とのコラボは、ターゲットになる年齢層や  
需要・原価等を考慮しつつ利益を追求されるので、プレッシャーも非常に大きい。学生にとっては、  
このような取り組みは、顧客のニーズを学べる良い機会である為、貴重な経験となる。

＜コロナ禍においての ネット販売について＞

Q, コロナの影響でネット販売が増えてきている。 需要を増やすため、ブランド販売をネットで  
できないものか？

〔吉村〕 「丹後」という名がブランドではあるが、きものにおいては、高価なものになればなるほど  
実物を見てから購入する人が多い。

〔A〕 実際に私達も、洋服であっても安価なものは購入するが、高額な物は素材感や縫製など  
実物を見ないことには、購入を躊躇することが多いので、金額に依るのではないかな。

＜就職について＞

〔藤岡〕 我社ではもうすでに来年度1名の新入社員の受け入れを決めており、それに応じて  
会社経営の計画を立てている。 この学校の学生をよく知っているが、きもの業界に  
限らなくても、他でも十分対応できる人材と感じている。コロナ禍の現在の状況から、  
きもの専門学校を卒業したからと言ってきもの業界だけに就職を絞らなくても、外にも  
目を向けて活動していくのも一つの方法ではないか？

在学中に得た知識やスキルは、後にきもの業界に転職した時にも十分生かせるとおもう。

私どもの業界でもそのような人材も多い。

〔A〕 入学してくる学生はきもの業界への就職を希望しているが、今後のためにも、他企業との  
パイプを繋げていく必要があるであろうと思う。

〔近藤〕 高校の方も、コロナの影響で心配をしていたが、昨年度より100～120%の求人が  
きている。

運輸業など以前にあまりなかった業種が多く、本校においては情報関係を学習している生徒  
にメリットがある。

きもの分野だけでなく、他の業種からでもきものに関係した仕事もあると思う。最近は  
洋服業界も、ゆかたなどきものを扱っている。そのような方面からでもきものを見出すこと  
もできると思うので、ゾーンをひろげた就職活動をするのも一つの手段だと思う。

また、学生募集活動については、修学支援新制度の認可校でもあるので、支援金などの  
制度も、学生や保護者にアピールすると、入学生も安心して入学できると思う。  
P, Rの方法を考える事によりひとつの強みに繋がるのではないかなと思う。

# 学校評価結果より 現状と今後について

令和2年7月9日(木)  
東洋きもの専門学校

基準項目	現状と今後について
基準1 【教育理念・目的・育成人材像】	社会のニーズに合わせ、業界とのコンタクトを密に必要とされる人材育成に努めている。今後も即戦力となる為の充実したカリキュラム編成を行う。 職業実践専門課程申請のための事前準備に関しては、コロナの影響もあり、研修などの中止や受け入れの検討などにより、足踏み状態である。今後研修再開の状況を注視し、実施を目指す。
基準2 【学校運営】	今年度の状況により、オンライン会議の実施など業務の効率化を図っている。今後もより業務遂行の効率化を工夫していく。
基準3 【教育活動】	今年度の検定関係に関し、現状、秋まで延期や中止となっている。検定時期としては、本校のイベントと重なるため、合格率のため検定講座を行えるよう教務部中心に調整を計って行く。
基準4 【教育成果】	例年4月～6月にかけ、卒業生の就職先や開拓など企業訪問を行う時期であるが、現在のところ、電話や書面の郵送のみである。業界企業とは長期にわたる信頼関係の下、情報の把握は出来てはいるが、時期を見て訪問を行っていきたいと考えている。 ＜6月末現在（6月より就職活動開始）＞ 卒業予定者18名 就職希望者16名（内）内定者1名（きもの業界）
基準5 【学生支援】	就職支援に関しては、昨年度2月には、コース専攻をおこなう1年生に向け、きもの業界の流れや職種、企業の仕事などの講義を行なった。3月には卒業学年1人づつに希望職種など個人面談を実施し、サポートに役立っている。また、今年度は就職担当教員を1名増やし、様々な観点から意見交換を行い、学生一人ひとりに合わせた就職支援を行なっている。緊急事態宣言の影響もあり、不安のある学生達のサポートをしっかりと行なっていきたいと考えている。 感染症の影響により、経済状況の厳しくなった学生には担任や担当者が個々の状況を確認し、各団体の緊急支援金などの説明を行ない、申請を取りまとめている。
基準6 【教育環境】	教育環境充実のため4月より校舎を移転。同時に施設・設備の見直しを行なった。今後も常に状況を見ながら充実に向けての対応を図っていききたい。 例年4月、5月に行なっている宿泊研修においては、12月頃の延期とし、状況を見ながら進めていく。また、校外学習などは、各クラス分散型で今月より実施。 本校学生がゆかた着付の指導を行なう学外学習は高校より講習会の依頼を受け、今月より実施。
基準7 【学生の募集と受け入れ】	今春は感染症の影響もあり、高校訪問や進学説明会などが中止となっているため、ホームページでの情報発信やSNSの活用など、広報部と協力しながら行なっている。 また、今後は教育内容をよりわかりやすく伝えるための検討を行なっていく。
基準8 【財務】	財務状況の基盤となる学生数の増加に努めていく。
基準9 【法令等の遵守】	学校関係者評価委員の意見をもとに、問題改善の努力と結果の報告に努めていく。
基準10 【社会貢献】	例年行なっている天神祭りなどの「無料ゆかた着付」は本校着付け教室を利用し、学生の「学びの実践」であったが、今年度は実施せず。 7月には2校の高校より依頼を受け、本校ゆかたを持参し、着付講習会を実施する予定である。 今後は社会の状況を配慮し、いろいろな方策を検討していかなければいけないと考えている。